

ぷらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



第81号

古牧だより通算175号

年頭のご挨拶

明けましておめでとうございます



古牧地区の皆様、新年あけましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい新年を、健やかに迎えの心からお慶び申し上げます。

日頃から住民自治活動に対する深いご理解とご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。



平成27年を振り返りますと、3月に北陸新幹線（東京・金沢間）が開業。善光寺御開帳に過去最高の707万人の参拝客がありました。政治面では、参議院で安保法案が可決しました。個人番号の指定が開始され順次マイナンバーの通知が始まりました。社会面では、阪神淡路大震災から20年、「地域防災・減災」の必要性が再認識されました。また「ゆるキャラグランプリ2015」に“出世大家康君”が。世相を反映する“流行語大賞”に輝いたのは「爆買い」と「トリプルスリー」の2つでした。

古牧地区におきましては、27年度の活動方針に基づき“各部会との協働・各地区との連携を強化し、地域ぐるみの元気な自治活動”

古牧地区住民自治協議会 会長 武重 博明

として、地域防災の充実、ごみの減量化、健康づくり・仲間づくりに基づく福祉活動の充実、犯罪や交通事故防止・火災予防等の生活安全活動、公民館活動・青少年育成・人権尊重・男女共同参画等の活動、より積極的な広聴・見聞活動による「ぷらネットこまき」の発行等を推進してまいりました。

本年は、介護保険制度改正に伴う新規事業として、昨年10月より進めてまいりました「ほんわか健康塾こまき」を行政との協働を深め、モデル事業として推し進める予定です。さらに、課題でございました「地域間交流事業」は、戸隠地区との交流を28年度より実施してまいります。実施に向け相互で活動内容を検討中です。

今年は申年、その由来は「申堅」とし、草木が伸びきり、果実が成熟して硬くなっていく状態を表すとされます。

平成28年、この新しい年が地域の皆様にとって実り多い希望に満ちた、伸びやかな素晴らしい年であることを心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



音楽ってだ〜い好き! おめでとう緑ヶ丘小金管バンド

南高田区の緑ヶ丘小学校金管バンド。昨年の11月21日に大阪城ホールで開かれた全日本小学校バンドフェスティバル（第34回全国大会）の舞台に初めて立ちました。おめでとう！

このフェスティバルは全日本吹奏楽コンクールの30周年を迎えた記念に、その小学校部門として1982年に創設されました。北信大会、長野県大会、東海大会を経て全国大会です。緑ヶ丘小金管バンドは10年連続で東海大会に出場、今回は全国大会に出場してみごと銀賞に輝きました。

バンドの子どもたちは、みんな音楽が大好きです。4年生から6年生までの44人。練習が厳しい時やつらい時もあるけれど「音楽が好き」「努力するとうまくなるし、できないことができるようになるとうれしい。音楽が



一番」と異口同音に言葉が返ってきます。

全国大会出場に「え〜っ、選ばれちゃっていいの？ 本当に行っちゃうよ？ っていう感じでした」との声も。部長の中村夢芽さん（6年生）は「全国大会でみんなで演奏できて楽しかったです。賞は関係ありません。音楽が好きで楽しいんです」とニコリ。そして「今まで聴いてくれた方々に感動してもらえようと演奏してきました。この気持ちを受け継いでほしいです」と語りました。

顧問の鈴木理教諭（47）は「基本は楽しくです。大げさですけどお客様に感動していただく、心を届けるということです。そのためにはへたではいけない、曲のイメージを、心を伝えないといけない、そのための努力は惜しまないと子どもたちに繰り返します。

2016年も音楽を楽しんでくださいね。

（広報部）

「信州ブレイブウォリアーズ」が来た! 第43回少年少女球技大会

去る11月1日（日）第43回少年少女球技大会が古牧小学校体育会で開かれました。今年度は、第1部にドッジボール、第2部にバスケットボール教室。第2部ではプロバスケットチーム「信州ブレイブウォリアーズ」の方からアドバイスをいただきました。

第1部の会場となった西体育館には50人が参加。白熱した試合が繰り広げられました。試合の結果は、優勝が古牧Bチーム、準優勝が古牧Aチーム、3位が緑ヶ丘小学校でした。

その間東体育館では、ボールの投げ方など

を指導していただきました。

第2部のバスケットボール教室では、低学年から高学年、中学生まで100人が集まり大盛会。「信州ブレイブウォリアーズ」の方をコーチに、各学年向けに手ほどきを受けました。みんなとても楽しそうにゲームやプレイをしていました。

短い時間ではありましたが、とても貴重な時間を過ごせたと思います。

（青少年育成部）



みとめ合い さしだすその手が たからもの

～日頃の触れ合い支え合いを 大切にしよう！

学校と地域で人権を考える集会開かれる

昨年の秋は、温かく過ごしやすい日が続きました。木枯らしが吹いたのかはっきりしないうちに12月になり年を越しました。

去る11月13日（金）に「学校と地域で人権を考える集会」が古牧小学校で開かれました。集会のテーマは“一人ひとりの違いが尊重される社会へ”です。とても難しい課題ですが、テーマに向かって努力し、尊重される社会が私たちの回りに少しずつでも実現できたら、どんなに素晴らしいことでしょうか。

今、私たちの回りには、いろいろな問題があります。子どもたちは問題に気付いた時どうするか、右か左かの決定に迷うことでしょうか。また、中学生や高校生など、どこへ進む



かきっと迷うことでしょうか。大人は、どう生きるべきかの決定に迷います。そんな時、分かり合える、語り合える友だちや大人がいたらどんなに心強いことでしょうか。

みんなで、一人でも多くの友だちに手を差しのべることができるようになりましょう。きっと、今以上に住みよい古牧地区になるはずですよ。

当日は、県立こども病院院内学級を支える会代表・宮越陽子さんが演題「命…電池が切れるまで ～病院とともに明るくそして精一杯生きた娘～」で記念講演。とても感動的でした。

大会最後に、全員で今後の決意を力強く表明し、終了しました。決意表明に恥じないよう一人ひとり自分のあり方を振り返りつつ前に向かって進みたい。（人権男女参画部）



インテリアプランツ作り

ひとり暮らし高齢者のつどい

去る12月15日（火）、ひとり暮らしと高齢者のつどいが開かれ、約20人が参加しました。

植物をゼリーのプラスチックコップへ移植するインテリアプランツ作りを体験し、あ～でもない、こ～でもないと楽しそうに手作業に専念していました。また傘木福祉部会長の奏でるアコーディオン伴奏で、昔から親しまれてきた歌を参加者全員で腹の底から大合唱しました。



ボランティア古牧のみなさんに協力していただき、おいしい昼食



を作りました。みなさんで「いただきます」の音頭でいただきました。参加者全員が短い時間でしたが大いに楽しんだと思います。

参加者の大半は女性で男性は2、3人。いろいろな会がありますが男性の参加が少ないのが現状ではないかと思えます。福祉健康部では子育てから高齢者までの様々な企画を立てています。家庭でテレビを見ている時間など使って、一人でも多くの方にご参加していただくことをお待ちしております。

（福祉健康部）

1月～2月の主な行事実施日のお知らせ

多くの皆様の参加をお待ちしています。

事業名	実施日	場所	実施内容	お問合せ先
男性の料理教室	1月22日(金)	古牧公民館		ボランティアセンター 244-8159
交通安全街頭啓発活動	2月3日(水)	西尾張部交差点	啓発活動	交通安全部 224-8494
介護者相談会	2月12日(金)	古牧公民館	困りごとの相談	ボランティアセンター 244-8159
子ども会総会	2月20日(土)	古牧公民館	今年度の活動の発表	青少年育成部 241-7355

しゃばえんびつ



育成部の活動にあたり

右も左も分からない状態の中、青少年育成部の役員として、また、副部長という重役を引き受けさせて頂きました。そもそもこの様な地域活動への参加には全く縁はありませんでした。非常に貴重な経験をさせて頂いております。

4月より今日まで様々なイベント企画や準備に携わってまいりました。これまでの実績を踏まえ、昨年同様のイベント実施を検討してきましたが、常にメンバーとの会議の中で懸念されたことは、なかなか参加者が集まらないという根本的な話でした。

9月に行われた少年少女球技大会(野球大会)は、過去より行われてきた歴史あるイベントであると当時の野球監督に伺いました。当時はさぞかし活気のある大会であったのでしょう。しかし時代も変わり、当時各地区毎に形成されていた野球チームも、現在の古牧地区には3チームしか残っていませんでした。この様な状況の中で、我々育成部は大会の準備・運営を行いました。

一方、本来この大会のコンセプトは、「古牧地区内における子どもたちの育成を球技を通じて行う」目的があります。参加できる子どもが限定されている等の点より、本来の目的とはだいぶ乖離(かいり)しているという批判のお声もいただきました。

昨今子どもが習うスポーツの多様化や、更なる少子化も進んできております。これまで自治体主体で行ってきたイベントも参加率が問われ、イベントの実施自体が困難になってきている状況の中、私たち育成部としてはイベントを見直し整理して、時代に合ったイベント企画や参加者の集まるイベントへの転換等、これまでのトレンドを大きく変える決断をすべき時代になってきているのかもしれない。

(齋藤 幸弘)



古牧地区の世帯数と人口

27年12月1日現在

11,138 世帯

26,822 人

(男 13,219人 女 13,603人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話・FAX 259-8359)
(HP <http://www.komakichiku.com/>)
- 発行者 武重 博明
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 尙小池印刷